

レミケード療法【外来用】【5mg/kg】

【内科】100【クローン病】

(第 100 日目)

*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:
医師名:	印

身長:	cm	体重:	kg
体表面積:	m ²	Cr:	mg/dL

■レジメン 下記が1コースの投与スケジュール : 週ごとを1コースとする

Day	1	~
施行日	/	
レミケード	↓	

■投与タイムテーブル

投与時間			
10時	<table border="1"> <tr> <td>ポララミン注 5mg 生食 100mL</td> <td>30分</td> </tr> </table>	ポララミン注 5mg 生食 100mL	30分
ポララミン注 5mg 生食 100mL	30分		
10時30分	<table border="1"> <tr> <td>●レミケード【 】mg 生食 500mL</td> <td>120分</td> </tr> </table>	●レミケード【 】mg 生食 500mL	120分
●レミケード【 】mg 生食 500mL	120分		
12時30分	<table border="1"> <tr> <td>生食 50mL</td> <td>10分フラッシュ</td> </tr> </table>	生食 50mL	10分フラッシュ
生食 50mL	10分フラッシュ		

■投与量 ※投与量の参考

薬剤名	標準投与量
レミケード	5mg/kg

■注意・確認事項

- 点滴セットはフィルター付き輸液ルートを使用すること。
- 3回分は入院で施行(初回、2週後、6週後)
- 投与開始の30分はゆっくり投与する。問題がなければ徐々にスピードを上げる
- Infusion Reactionの発現に注意すること(発熱・血圧低下・アナフィラキシー様症状など)
- 6週の投与以後、効果が減弱した場合には、10mg/kgに増量することができる。

■溶解時の注意事項

- バイアルを回転させながら緩やかに溶解し、溶解後は5分静置すること
- 注射針は22Gを使用すること

入力 薬剤師	看護師	看護師